

【地域の情報】

※次回の発行は2020年7月の予定

◆小規模多機能居宅介護「創生館」オープン!!!

庄内町にある特養老人ホーム「白寿園」の敷地に新たな建物がオープンしました。その名も「創生館」!
 「同じスタッフと同じ場所で一人ひとりの自宅での暮らし方に合わせてサポート 介護が必要になっても家で暮らせる地域を目指します」というコンセプトで地域のために貢献してくれています!
 興味のある方は、ぜひ下記お問い合わせ先までご連絡ください!



<お問い合わせ先>
 TEL: 0986-36-5103
 MAIL: masahiko.takahashi@mifj.net

◆2020年度 KOSEN塾 情報

昨年度まではもちなが邸で継続的に開催しておりましたが、今年度からはリノベーションが進み、装いも新たに『かけるくんのうち』で実施したいと思っております。現在はコロナ禍で再開のめどが立っておりませんが、今年度も基本は月に2回日曜日に、中学生を対象とした少人数制で実施します。KOSEN塾では塾講師経験があったり、レベルの高い高専の入試を乗り越えた現役の学生が講師をしており、昨年度は受講生が皆、高専を含む志望校に合格できました(〇)高専生(専攻科生含む)がわかりやすい解説を対面式でやってくれ、日頃の勉強の仕方の相談や学校の定期試験対策など、何でも気軽に相談できると中学生に好評です。詳しい情報は、追って「Kosen-まちの縁側育み隊」Facebookページ等で配信します。ぜひ、参加してみてください!!!

~庄内町~ 地域のお店 情報板

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛により、多くの飲食店が苦境に立たされています。テイクアウトをしているお店もありますし、地域を支えようと新たなサービスをしているお店もあります。是非、お買い物・お食事は地域のお店で!! 庄内町には魅力的なお店がたくさん!!
みんなでまちを支え合って乗り越えよう!



地域のおススメのお店の情報がありましたら、是非とも編集部(Kosen-まちの縁側育み隊)までお寄せください。ご協力よろしくお願いいたします。

町家カフェ もちなが邸
 発行元 NPO法人手仕事舎そうあい 住所: 宮崎県都城市庄内町12625
 TEL: 0986-37-0002
 町家カフェ・もちなが邸 Mail: mochinagasoai12625@gmail.com

情報誌の内容に関する問い合わせは・・・
 都城工業高等専門学校 建築学科 杉本研究室
 URL: http://www.miyakonojo-nct.ac.jp TEL: 0986-47-1237
 Mail: sugimoto@cc.miyakonojo-nct.ac.jp FAX: 0986-47-1248

COO住創

2020/4
春号
 vol.06
 SHONAI

発行者: NPO法人手仕事舎そうあい
 編集: 都城工業高等専門学校建築学科杉本研究室

今、地域のチカラが試されるとき

都城工業高等専門学校 建築学科 准教授 杉本弘文

COVID-19新型コロナウイルス(以降、コロナ)の流行は、これまでの社会の流れを大きく変えるきっかけになりつつあります。経済効率を優先し、都市に人やモノを集中させることで効率化を図ってきたこれまでの価値観が大きく変わりはじめています。私たちの生活・コミュニティに目を向けてみると、近代化・都市化の過程の中で開かれていた公・協の活動は、閉じられた個の活動に向かい、車社会の発達によってそれが加速していったと言えるでしょう。そして、社会の産業化と文明の高度化は時間の流れの中で金銭消費型の余暇活動を増大させ、日本固有の自然や地域の歴史・文化と共生し、育まれてきた時間消費型の余暇活動やその受け皿となる近隣(地域)での生活空間、そして子ども達が安心して遊び学べる空間(地域共有の空き地、公園、路地...)までもが失われてきました。その結果として、「地方創生・地域創生」が叫ばれ、昨今様々な取り組みがなされています。

そんな中でのコロナインパクトは予想以上に大きく、長期化の様相も見えています。そして今、「アフターコロナ(コロナが終わった世界)」ではなく「ウィズコロナ(コロナと共に生きていかなければならない世界)」を見据え、これから私たちが生きていく世界は今までの常識から少なからずズレた世界になるのではないかと考えます。

今から約80年前は日本の人口の80%以上は現在の「地方」と呼ばれるエリアに住んでいました。それが現在では「都市」への人口集中が進み、人口割合は完全に逆転しました。特に三大都市圏(東京圏・大阪圏・名古屋圏)だけで全人口の50%以上が集中しており、人口減少下にあっても東京の人口は増え続けると言われています。しかし、このままコロナの流行が続いたら、日本は未だかつてない規模で地方疎開が生まれ、「地方(地元)回帰」が起こるのではないかと思います。そして、本格的な働き方改革など、様々な改革が次々と起こり、「商(経済)」の時代から「食(農)」や「生活(人)」にスポットが当たる時代へと変わっていくような気がします。その意味では、自分の住んでいる『地域』にみんなの目が向いている今、まさに『地域のチカラ』が試されるときです。

それは、地域に住んでいるひとりひとりの持っている意識と知恵・技・芸の分かち合い、交感(共に感じ合う)と交歓(共に楽しむ)がとても大切になると言えるでしょう。都城高専・杉本研究室では、そのための場づくりを地域の皆さんと一緒に進んでいければと思っています。地域で行われている様々な活動を見てみると、単に「参加」するだけでなく、自ら「主体」となって自発的にコトを興す魅力的なプレイヤーが現れており、庄内町ひいては庄内地区では、既にその芽は育ってきていると確信しています。世界がコロナを乗り越え、その閉塞感から抜け出した時、「選ばれるまち」「戻ってきたいまち」「住み続けたいまち」になっていることを目指して、この苦しい状況をまちのみんなで見守りながら乗り越えましょう。

私事ながら、そんなまちの「当事者」になるべく、5月から庄内町に住み始めます。地域の皆さま、家族共々宜しくお願い致します。



このまちの未来は変わるかもしれない、でも、みんなでつよつよとついでいこう。助け合い、語り合いながら乗り越えよう。

今号の特集

こいのぼりとピザ窯



4月5日(日)から庄内川にこいのぼりが設置され、優雅に泳いでいます。「かけるくんのうち」でも負けじとこいのぼりをあげました!!こいのぼり一匹一匹は小さいですが、家の周りをぐるりと一周し、色とりどりのこいのぼりが鮮やかです。是非見に来てくださいね!

DIYで手作りしたピザ窯で焼いたピザはふわふわでチーズがとろけて絶品でした!!レンガを積むだけで意外と簡単にDIYすることができました。コロナが収束したら、みんなでお庭でピザパーティを開きましょう!



かけるくんのうちシェアハウス化計画!

シェアハウス ~share house~ に向けてリノベーション★

空き家を活用した「みんなのうちのプロジェクト第1弾」として始めた『かけるくんのうち』で、当初から構想していた『シェアハウス』化に向けて大きく動き出しました!

4畳半の和室の床をDIYでフローリングに張り替え、2つあった押し入れのうちのひとつを利用して2段ベッドをつくり、2人部屋を実現しました。早速、子ども達の秘密基地を化してしまいました(笑)

元々収納棚が設置されていたスペースは棚を移動し、DIYで本棚と机を作りました。

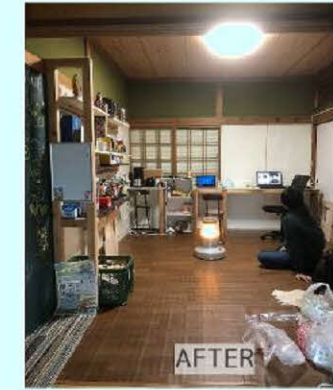
地域にある空き家を大切な「地域資源」として若者が活用し、まちを盛り上げていくきっかけになればと思います。今後の展開にご期待下さい!



かけるくんのうちDIYの軌跡



エントランス ~entrance~



玄関を開けてすぐにある6畳の和室はお客様を出迎える場所として大変身しました。作業中は地域の子供たちもお手伝いに来てくれました(^^)/リノベーション後は明るいエントランスとなり、飾り棚やカウンター机、黑板などが設置されて、お仕事やお勉強など様々な用途に活用できます!利用してみたいという方はぜひご連絡ください!

ウッドデッキ ~wood deck~



このデッキを作るきっかけになったのは「傾いた部屋」でした。人が生活するための部屋として使うのは困難だと判断し、それならいっそ半屋内・半屋外として開放的な空間にしておこう!ということで、ウチとソトを繋ぐウッドデッキを製作しました!屋外には黑板や小さなカウンターを設けたので晴れた日にはBBQなどもできそうです。室内には漫画やプロジェクターが置いてあるので、こちらを利用したい方はぜひお問い合わせください!

お問い合わせ

「かけるくんのうち」の利用やKOSEN塾の参加に関する問い合わせは、以下の問い合わせ先にお電話いただくか、下記QRコード(Facebookページ)よりメッセージにてお申込みください。尚、KOSEN塾に参加希望の方は、氏名、学年、連絡先(電話番号・メールアドレス)が必要となります。

TEL 0986-47-1237
担当:長友(都城高専 杉本研究室)

※平日18時以降及び休日は電話に出られない可能性があります。予めご了承ください。

「Kosen-まちの縁側育み隊」
Facebookページへは
QRコードからアクセスして
お申込みください
→→→→→→→→→→→→

